

## 令和7年度第2回伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会 会議録

開催日時 令和7年10月3日（金） 14:00～16:15

開催場所 伊勢原市役所 レストラン棟 1C会議室

### 出席者

委員 岡西委員、清水委員、新實委員、村井委員、青柳委員、横溝委員  
杉本委員、佐藤委員、横山委員、館委員、山寄委員、高野委員、  
早乙女委員、長谷川委員、綿貫委員、高木委員、鎮日委員  
専門部会 柏木委員、小木委員、山田委員、長尾委員、矢野委員  
事務局 障がい福祉課 職員2名

### 議題

- (1) 令和7年度各専門部会の取組について
- (2) 第8期障がい者計画・障害者福祉計画及び第4期障害児福祉計画策定に関する基礎調査について
- (3) 湘南西部保健福祉圏域自立支援協議会について
- (4) 重層的支援体制整備事業について
- (5) その他

### 経過

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 専門部会の取組について

○相談・地域支援部会

第4回は、荒天のため中止。第1回グループホーム連絡会は、今後のあり方について検討し、情報交換として、地域連携推進会議の事例紹介や法定研修、「神奈川県相談支援従事者人材育成ビジョン」や厚労省の「相談支援業務に関する手引き」を情報提供した。

第5回は高校卒業後の進路を決めかねている18歳成年の進路について、GSVを実施して事例検討を行った。

(委員)

GSVの目的や効果について説明してほしい。また、グループホームの現状について教えてほしい。

(相談・地域支援部会長)

G S Vの目的は、事例を持ち込む場を作る、事例の疑似体験をする、グループワークを通じて関係機関との連携を作る、事例を蓄積して地域の課題整理をする。

無批判、テンポ良く、楽しくをポイントにすることで連携を深めていくことができる。

グループホームは、市内 23 箇所あり、近隣市の日中支援型のGHは、湘南西部圏域では、平塚市、秦野市、伊勢原市、二宮町、大磯町で 10 箇所ある。

#### ○こども支援部会

第2回は、「発達障害の理解と対応～アセスメントの大切さ～」をテーマに、神奈川県発達障害支援センターかながわエースの飯山氏を講師にお話をいただいた。

#### ○災害時支援部会

第2回は伊勢原支援学校のぼうさいまつりに市危機管理課、消防本部と参加した。今年から「夏まつり こまのすけとぼうさいをまなぼう」に名称変更した。地域の方の参加を促したい学校の意向もあり、約 280 人の参加者となり、地域に開かれた防災まつりとなった。

(委員)

災害時個別避難計画の進捗状況について

(委員)

災害時要援護者登録名簿に記載されている方のうち、ハザードエリアにお住まいの方から、同意書を郵送するが、自治会や民生委員へ説明の説明後になる予定。

#### ○就労支援部会

第3回は、7月2日に、例年実施している障がい福祉事業所合同説明会を実施。来場者は70～80名で、例年より少し多かった。就労支援ワーキンググループでは、令和7年10月から開始する就労選択支援について情報共有した。就労選択支援の場所については、就B事業所にパーテーションで区切って設けようとしたが、県からパーテーションで仕切るのは不可という話があったため、現状、指定管理施設があるので、市と相談する必要がある。平塚市では、サンシティで進める話があった。

第3回の雇用促進セミナーは、10月10日に開催予定。

#### ○精神障がい者支援部会

ピアのつどいでは、自分のことを話す新たなコーナーを作ることについて話し合

い、テーマを決めて参加者の話し合いの場としている。家族サロンでは9月4日にみくるべ病院の岡崎医師に「これって依存？～ゲーム、SNS、市販薬、アルコール～どこから病気？治療の目安と治療方法」をテーマに講演を行った。第2回は医療側の視点を聞く機会として平塚保健福祉事務所秦野センターの「こころの健康相談」の枠を活用させていただいて、みくるべ病院の岡崎医師による3事例の検討会を行った。

#### ○当事者部会

第2回は権利擁護部会と合同開催で、福祉体験授業のプレ発表を行った。視覚障害、聴覚障害、精神障害、知的障害について、他の当事者がどのように授業を行っているのか確認するために今年度初めて実施した。福祉体験授業は、7月11日に中沢中学校で例年と同様に行う予定。

#### ○医療的ケア等支援部会

第2回は事業所見学ツアーですこやか園を訪問し、事業概要の説明を受けるとともに、施設見学した。1階は、児童発達支援事業を実施し、2階は、地域活動支援センター、にじグループは、重症心身障害児、医療的ケア児、歩行困難な子が利用している。にじグループの延長で日中一時支援事業を利用する子もいる。

### 2 第8期障がい者計画等策定に関する市民意識調査について

手帳取得者を除いた市民意識調査と当事者向け市民意識調査の2種類の調査について概要を説明した。

(委員)

調査は、紙での対応か。

(委員)

紙での対応である。

### 3 湘南西部保健福祉圏域自立支援協議会について

圏域相談支援のセルフプラン率の削減に向けた取組について、神奈川県は全国的にセルフプラン率が高いため、削減することを目標としている。伊勢原市は3.2%で低く抑えていて、総合支援法のスタートからの取組の効果だと考える。

### 4 重層的支援体制整備事業について

地域福祉推進課の担当課長から説明。地域共生社会の実現に向け、包括的な支援を整備し、複合的な福祉課題を抱え、制度の狭間となり、分野ごとのサービスでは、解決が難しいケースについて、相談支援を行っていく部署である。

(委員)

高齢になりつつあり、まだ介護ではないが障がいサービスでは受け止めきれないケースがあるが、そういった相談を受けてくれるのか。

(担当課長)

一旦、相談を受け、皆で対応を検討するようになると思う。

### 3 その他

事務局より、次回は、令和8年2月3日午後2時から市役所2C会議室となりますので、ご出席をお願いしたい。

以上